

【三木町】  
校務DX計画

1 校務DXを推進する上での現状と課題

GIGAスクール構想の取組みやコロナ禍における取組として、ICT機器の導入が積極的に行われ、それらを活用する上で、校務への活用にも活かされた。

一方、クラウドツールの利用に関しては、取り組めていない部分があるため、この活用の推進が現状の課題である。

2 校務DXを推進するための課題解決策

ペーパーレス化の大きな阻害要因となっているFAXでのやり取りや押印の要否について見直しを進める。

その上で、クラウドツールへの移行を検討し、各町立学校のDX担当者との協議や情報共有等を行う。

3 次世代校務DX環境の整備について

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務DXの在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、県内の教育委員会等とも連携しながら、検討を深める。